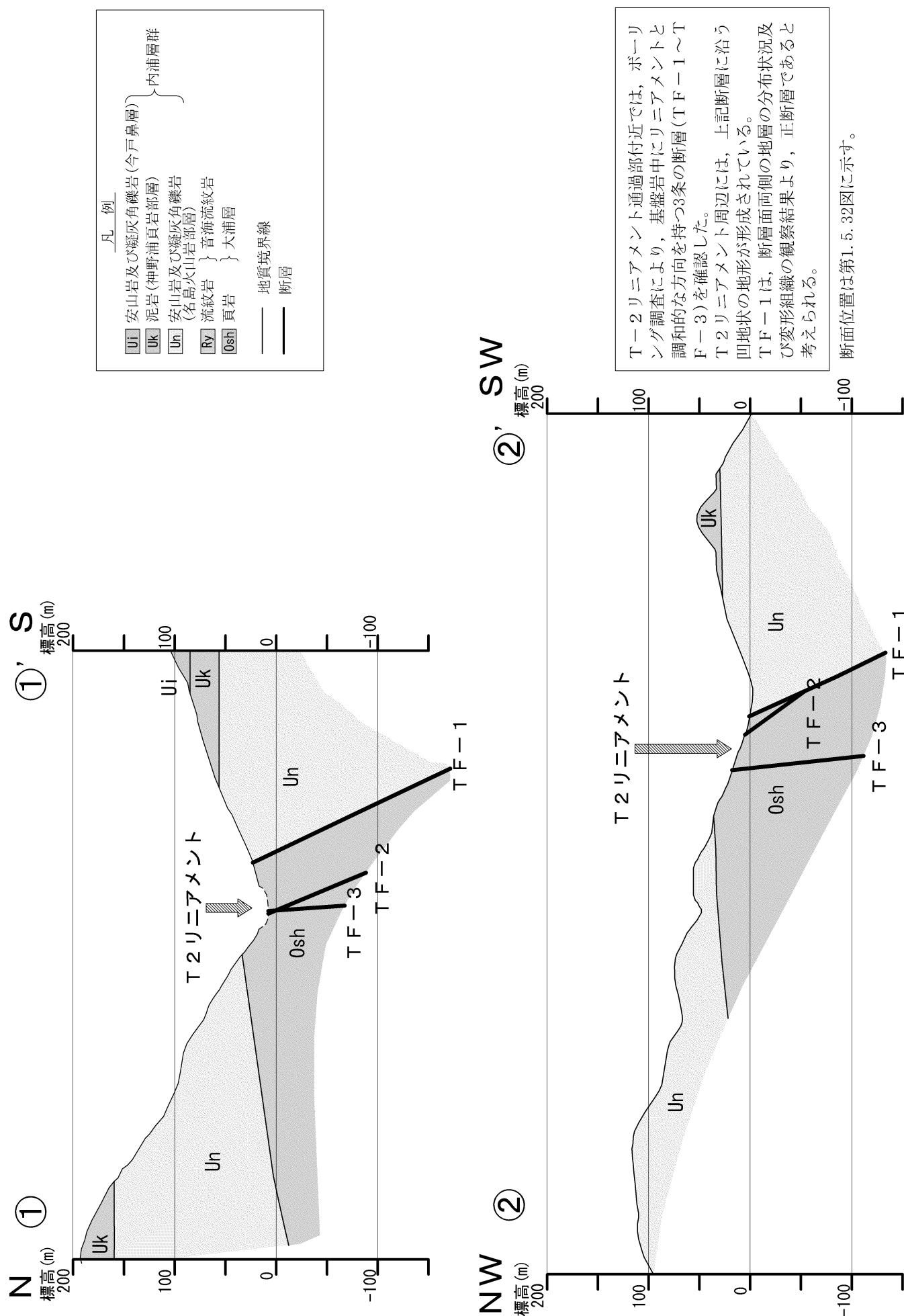
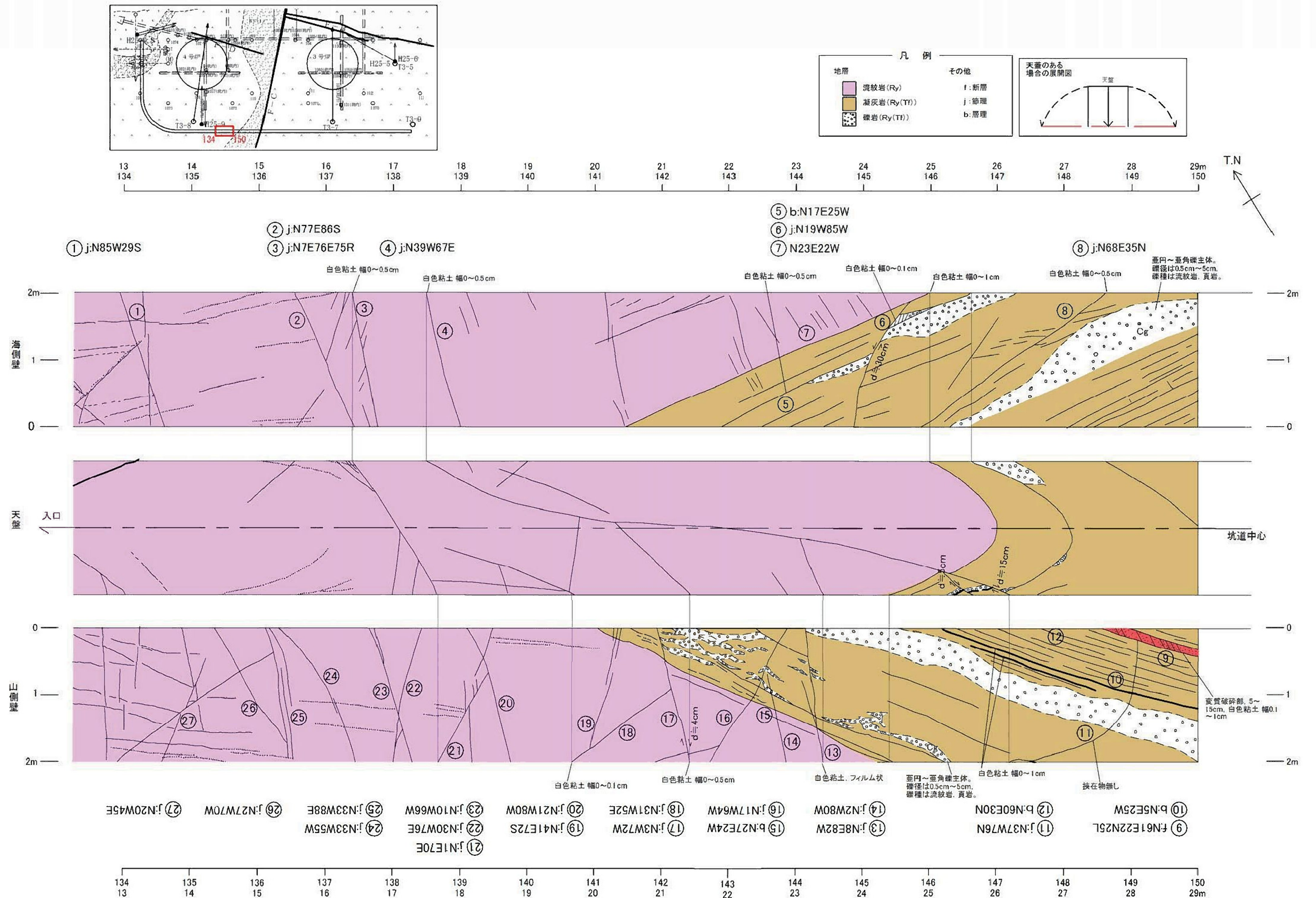




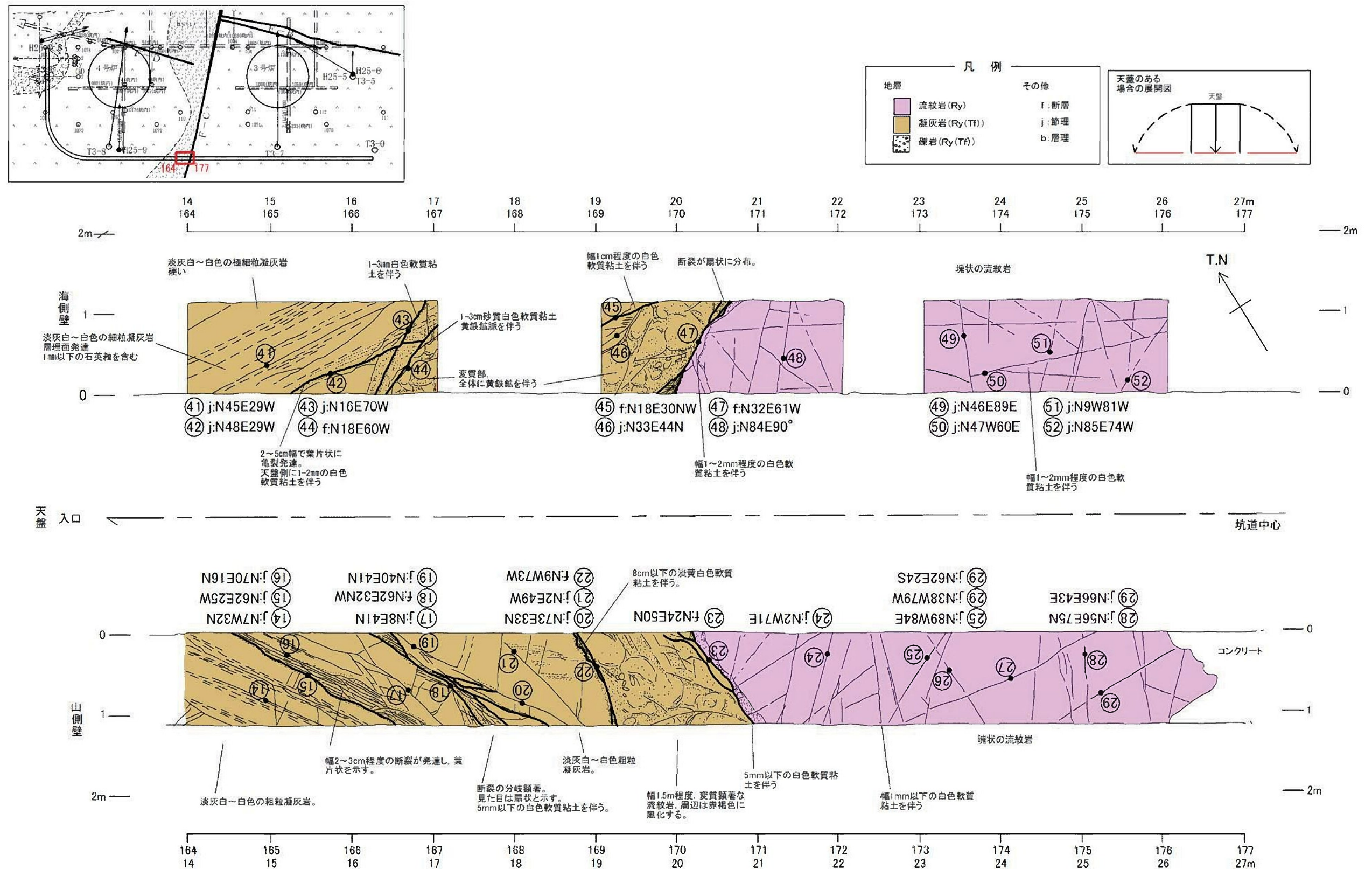
3015



第1.2.3.3.6 図 T2 リニアメント周辺の基盤岩地質断面図

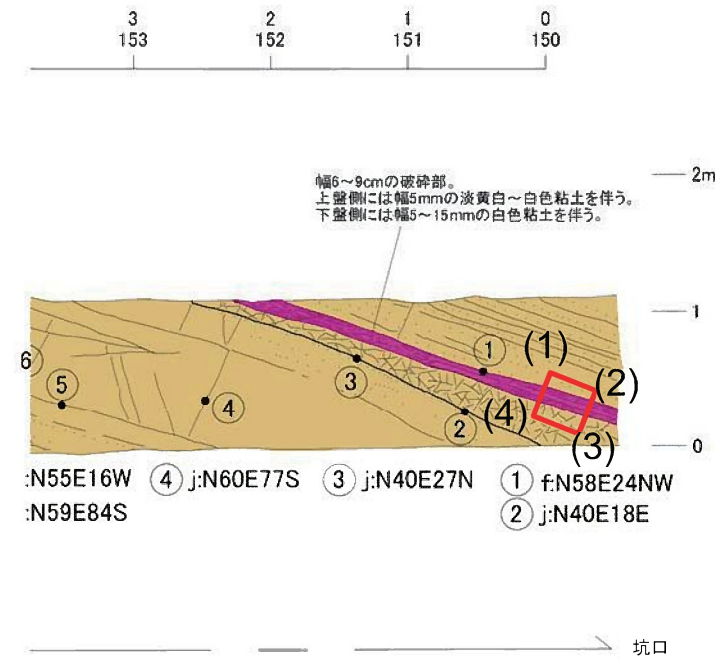


第 1.2.3.3.7 図(1) 水抜き坑の壁面観察(1)



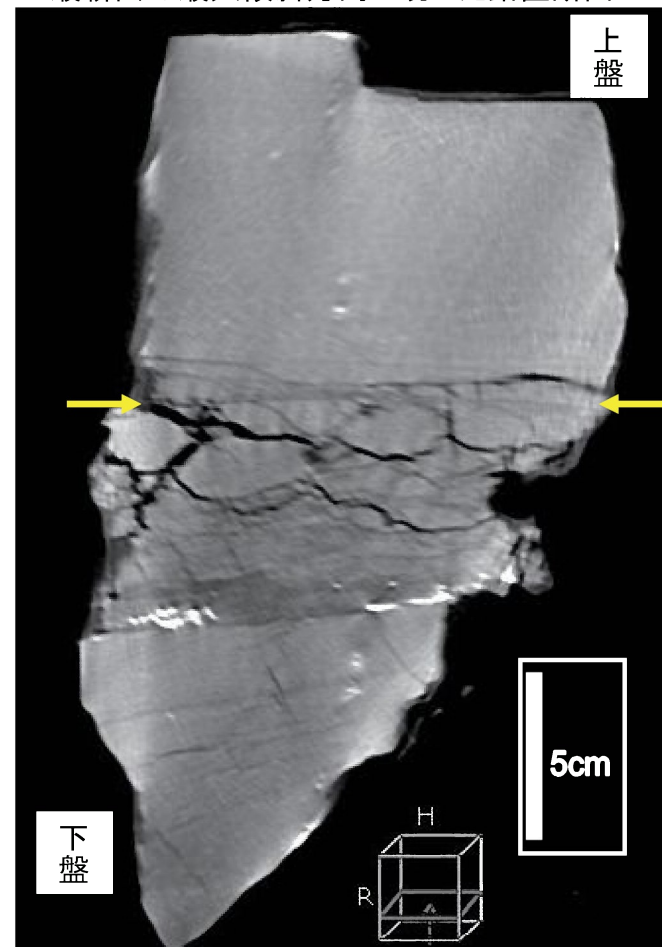
第 1.2.3.3.7 図(3) 水抜き坑の壁面観察(3)

F-C (水抜き坑No.1ブロック)



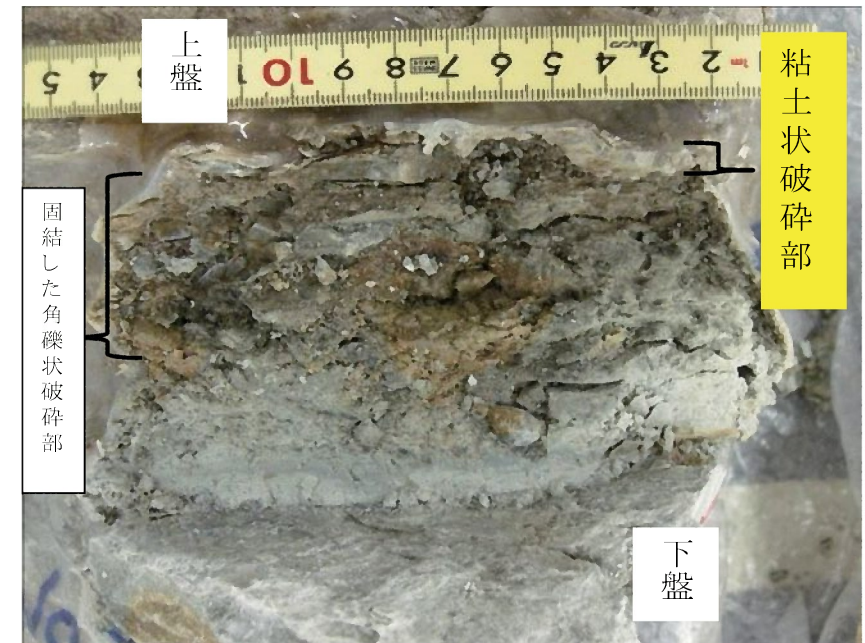
CT画像

最新面の最大傾斜方向に切った鉛直断面

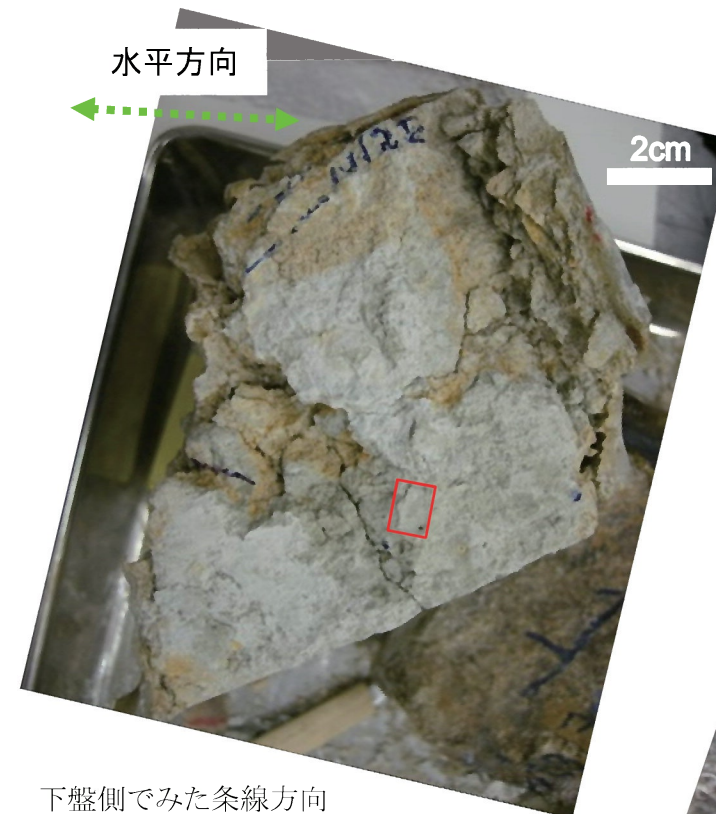


CT画像解析結果

- ・最新面は黄色矢印。
- ・粘土状破砕部厚さは0.3mm程度。

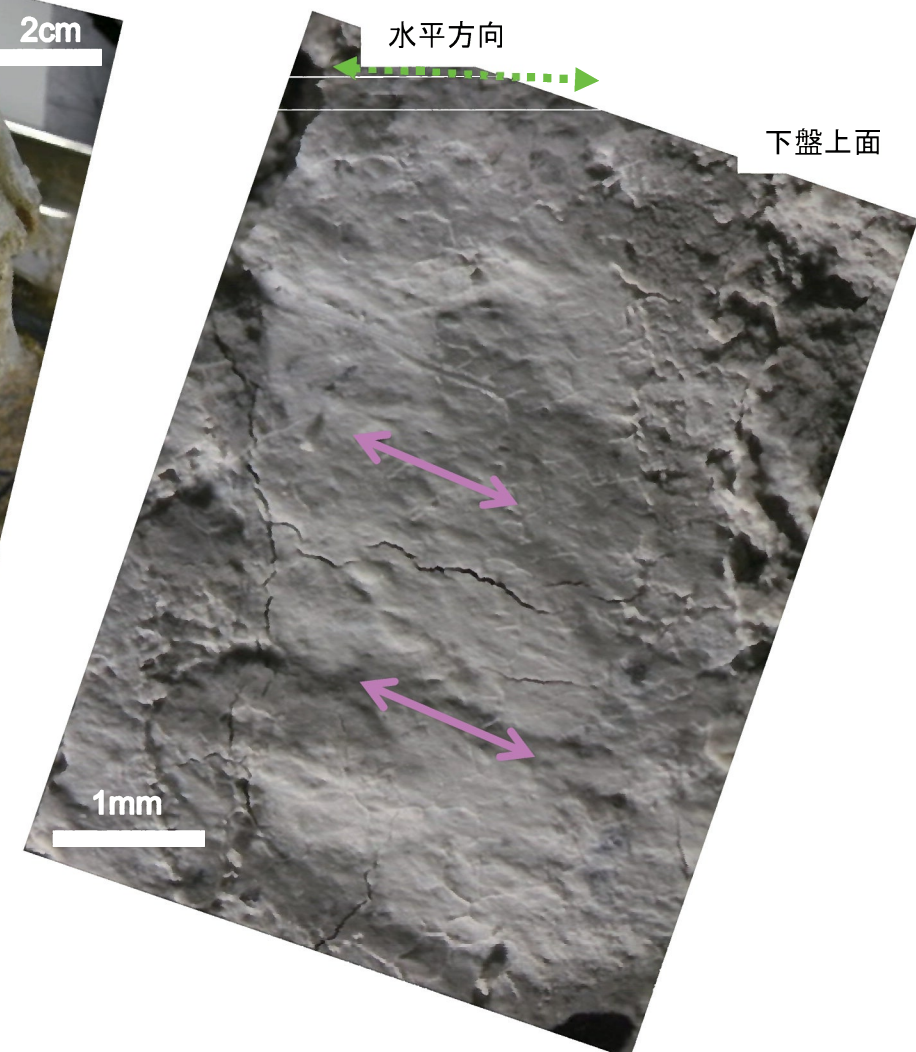


- ・断層面:N58° E/24° NW
- ・上盤の直下に厚さ1mmの粘土状破砕部と厚さ5cmの角礫状破砕部が認められる。



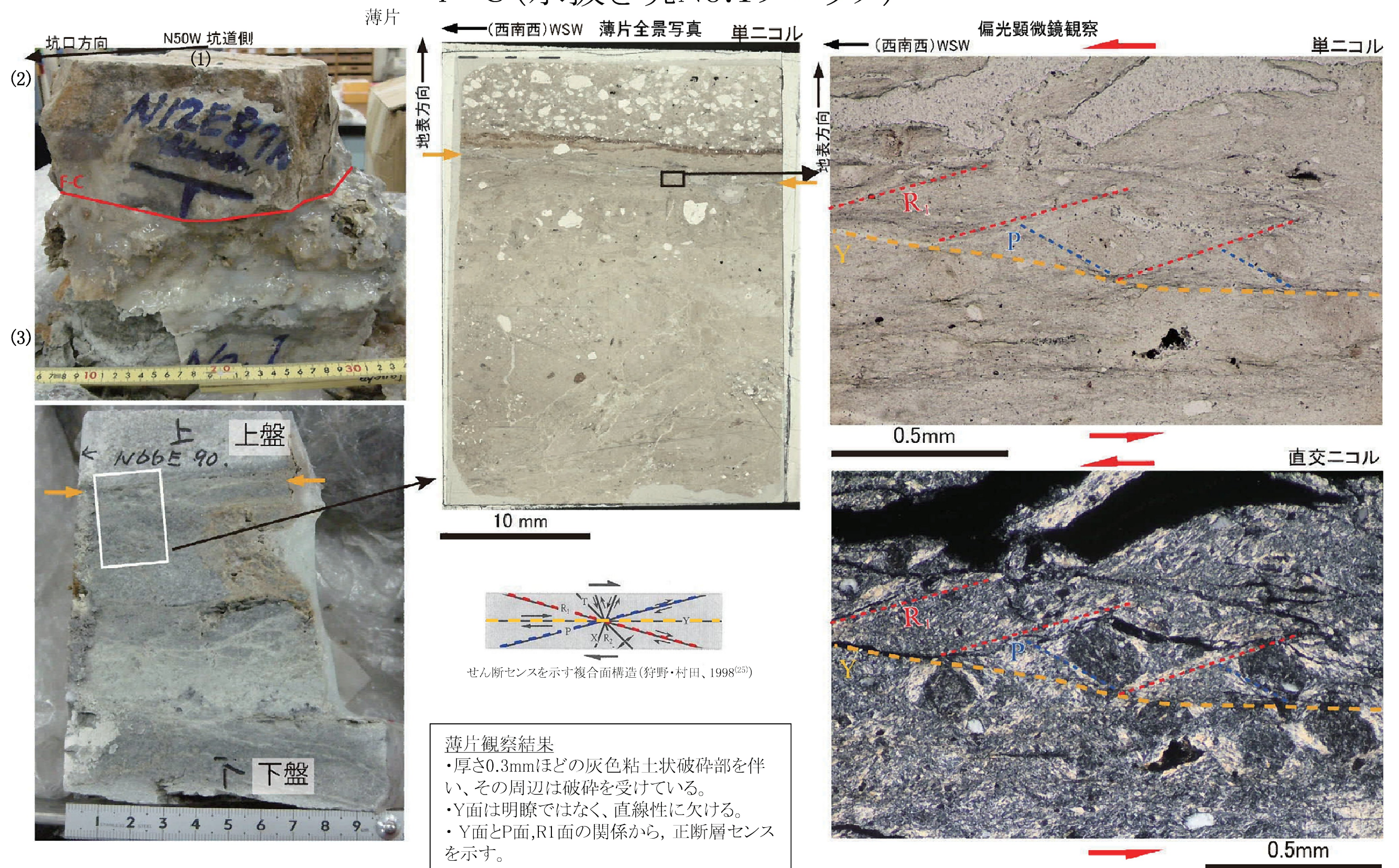
下盤側でみた条線方向
断層面の走向

条線方向(19°R)

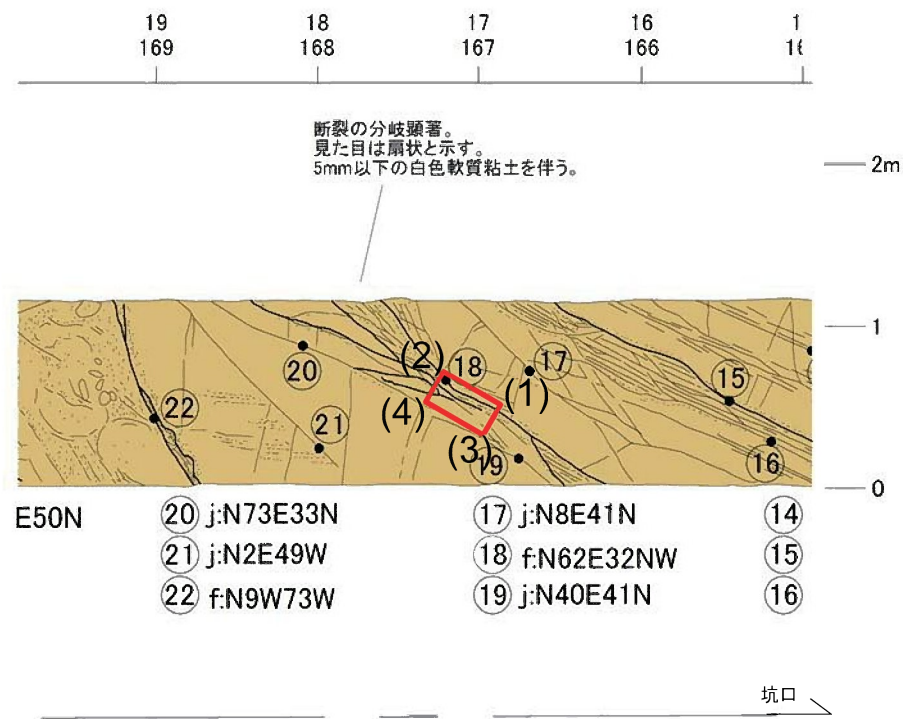


第 1.2.3.3.8 図 F-C (水抜き坑 No.1 ブロック) 条線観察結果

F-C (水抜き坑No.1ブロック)

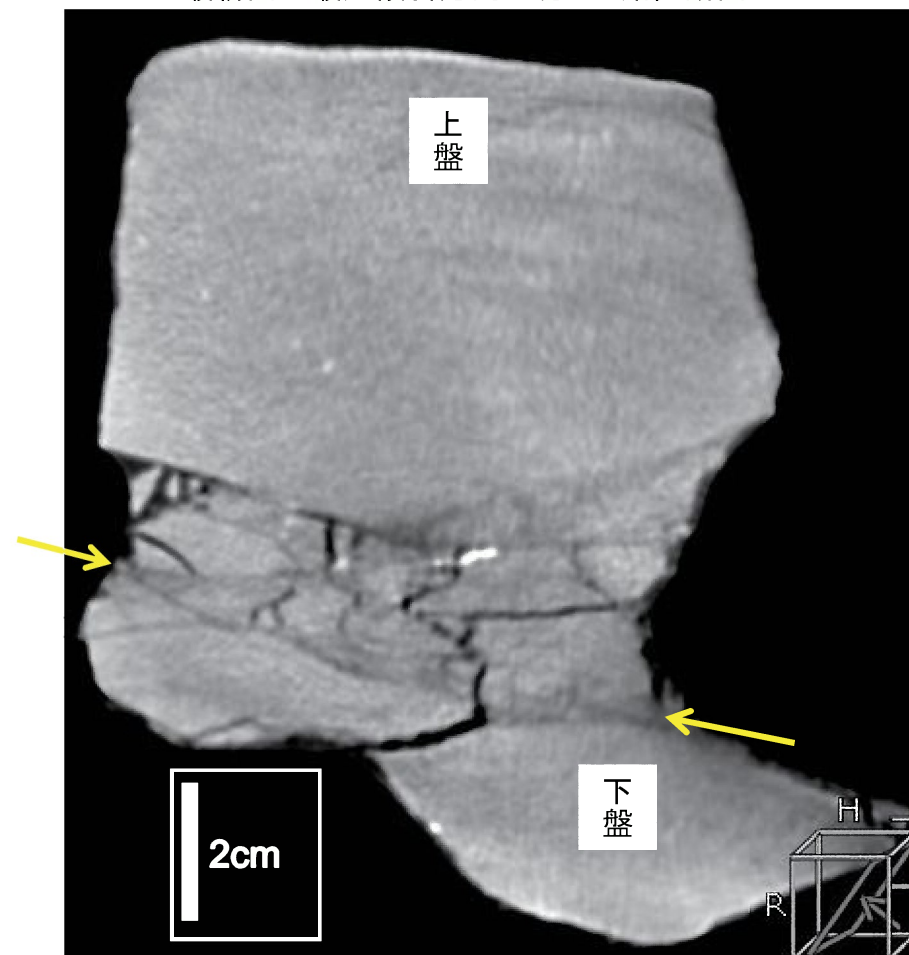


第 1.2.3.3.9 図 F-C (水抜き坑 No.1ブロック) 薄片観察結果



CT画像

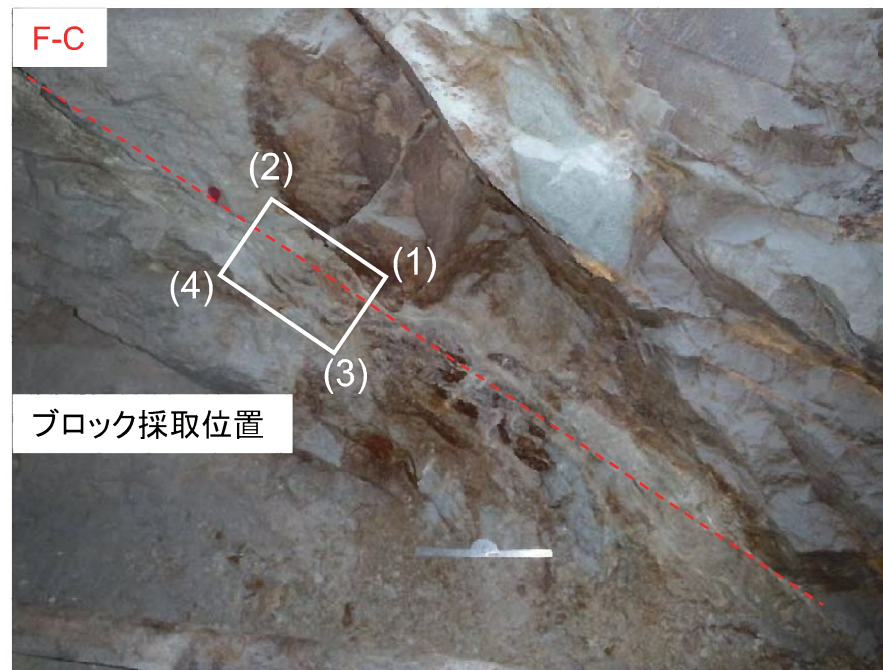
最新面の最大傾斜方向に切った鉛直断面



CT画像解析結果

- ・最新面は黄色矢印で示している。
- ・破砕部の境界は明瞭であるが、膨縮が認められる。

F-C (水抜き坑No.4ブロック)



ブロック観察結果

- ・破砕部の走向・傾斜はN62E /32NW
- ・厚さ最大3mm程度の粘土状破砕部を伴う。

水平方向

条線観察

下盤上面

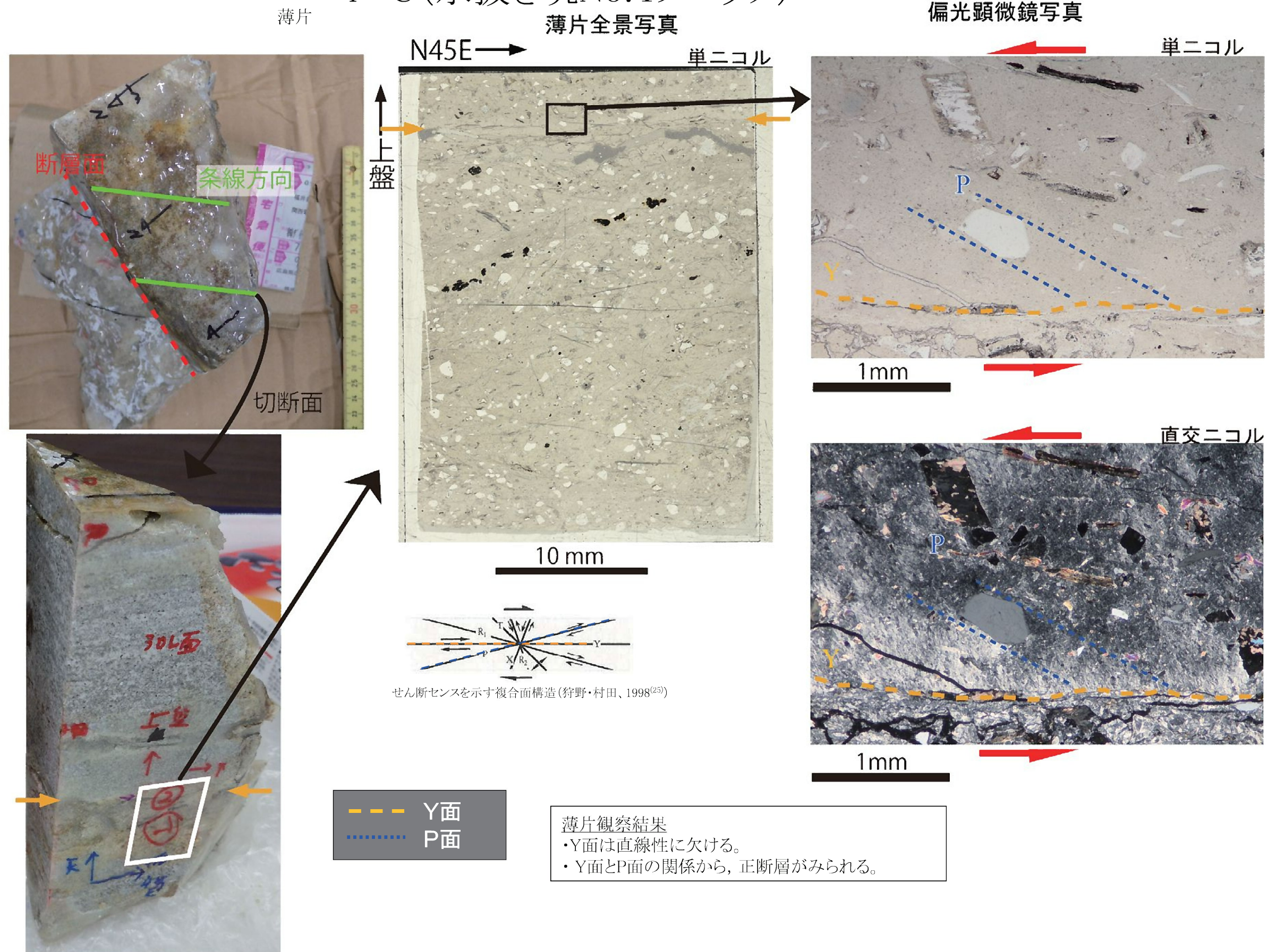


下盤側でみた条線方向

断層面の走向

条線方向(25°R)

F-C (水抜き坑No.4ブロック)



F-C (H25-9孔 破碎部1)



※赤下線を拡大。



ボーリングコア観察結果

- 深度46.6m～46.7mに厚さ5cmの破碎部があり、厚さ3.5cmの淡緑灰白色の角礫状破碎部と厚さ1.5cmの礫を伴う粘土状破碎部からなる。
- 断層の走向/傾斜: N52E/9NW



ボーリングコア観察結果

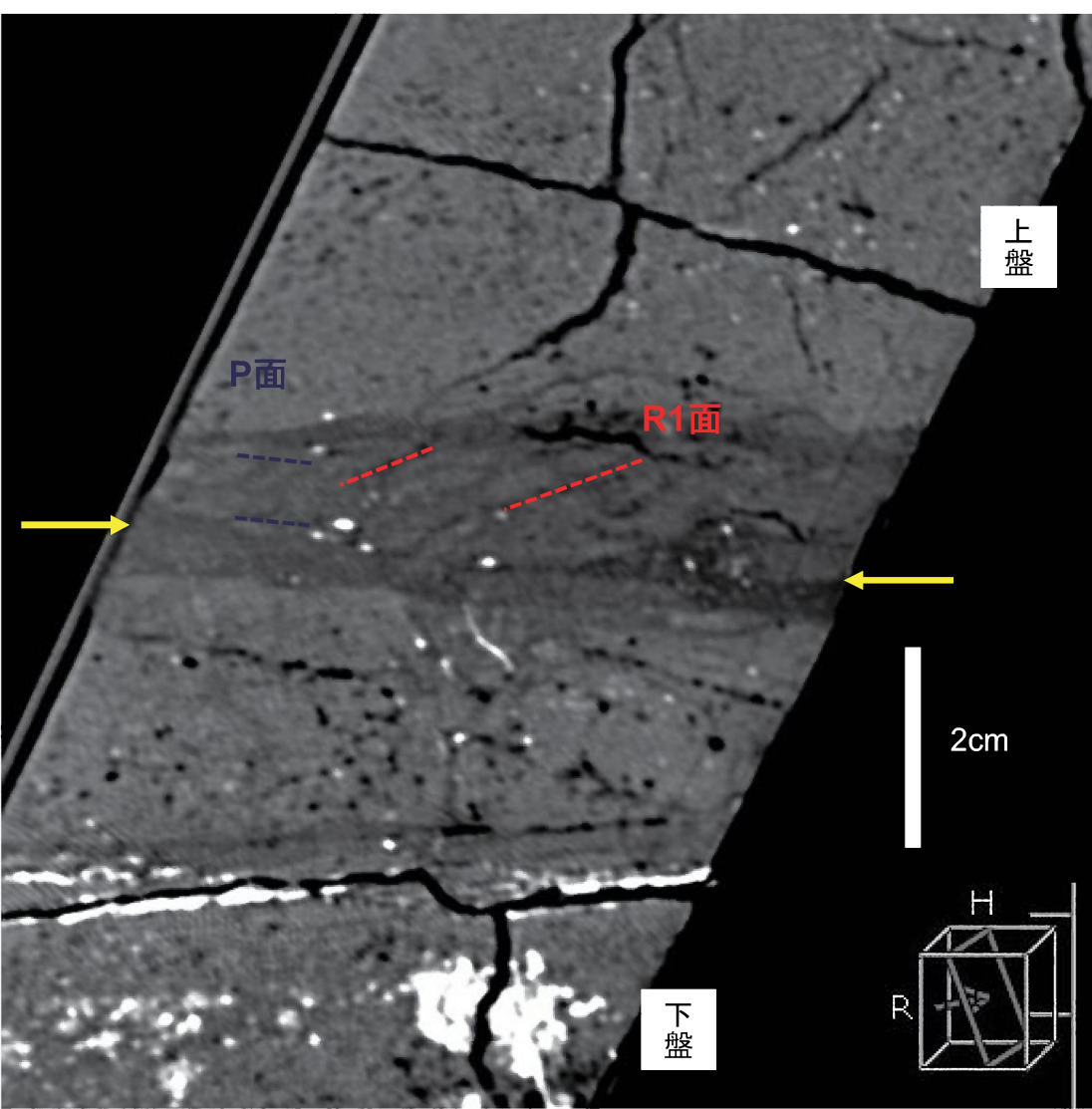
黄色矢印箇所を最新面と認定。

F-C (H25-9孔 破砕部1)

CT画像

条線に平行な方向で断面を取り、断層の縦ずれ変位を観察。

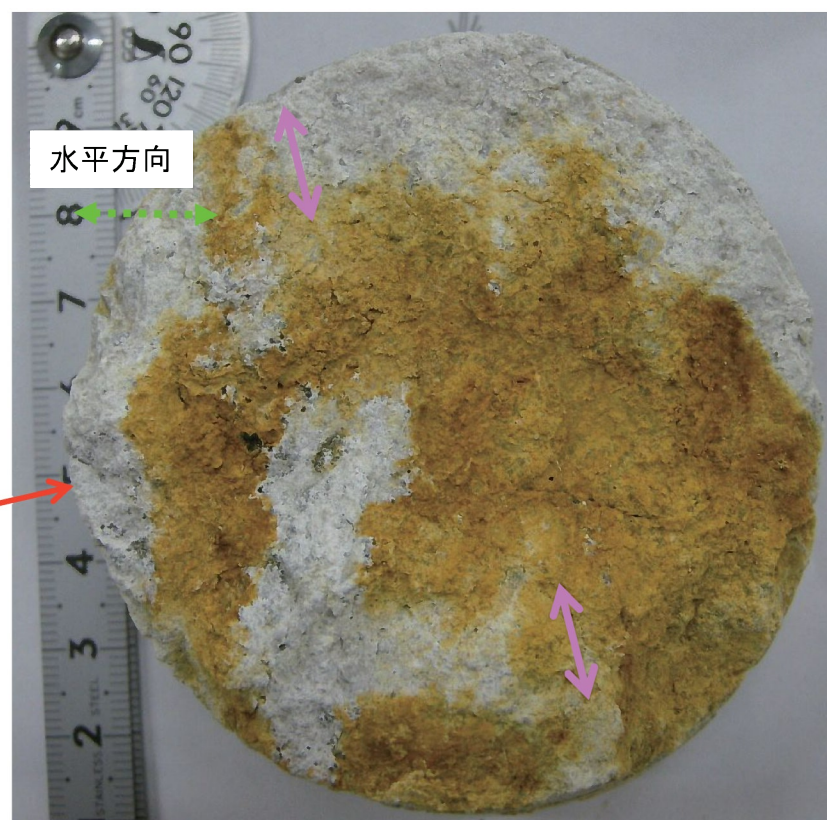
正断層センス



H25-9 46.6m-46.7m

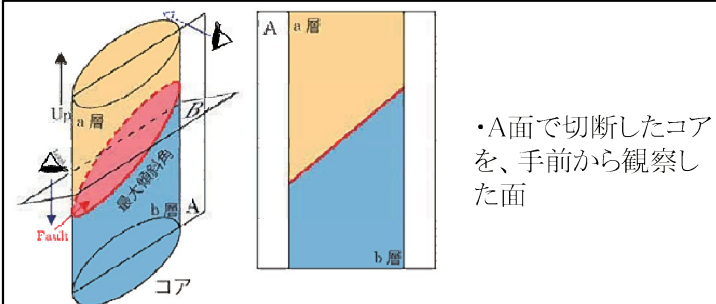


上盤下面

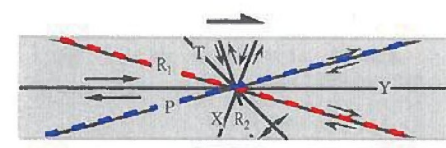


条線観察結果
・条線は不明瞭で、断片的である。

CT画像解析結果
・最新面には厚さ1.5cmの礫を伴う粘土状破砕部。
・複合面構造が認められ、正断層センスを示す。



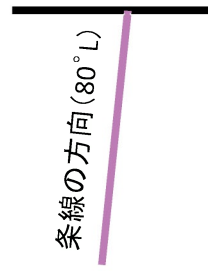
最新面
R1面
P面



せん断センスを示す複合面構造 (狩野・村田、1998⁽²⁵⁾)

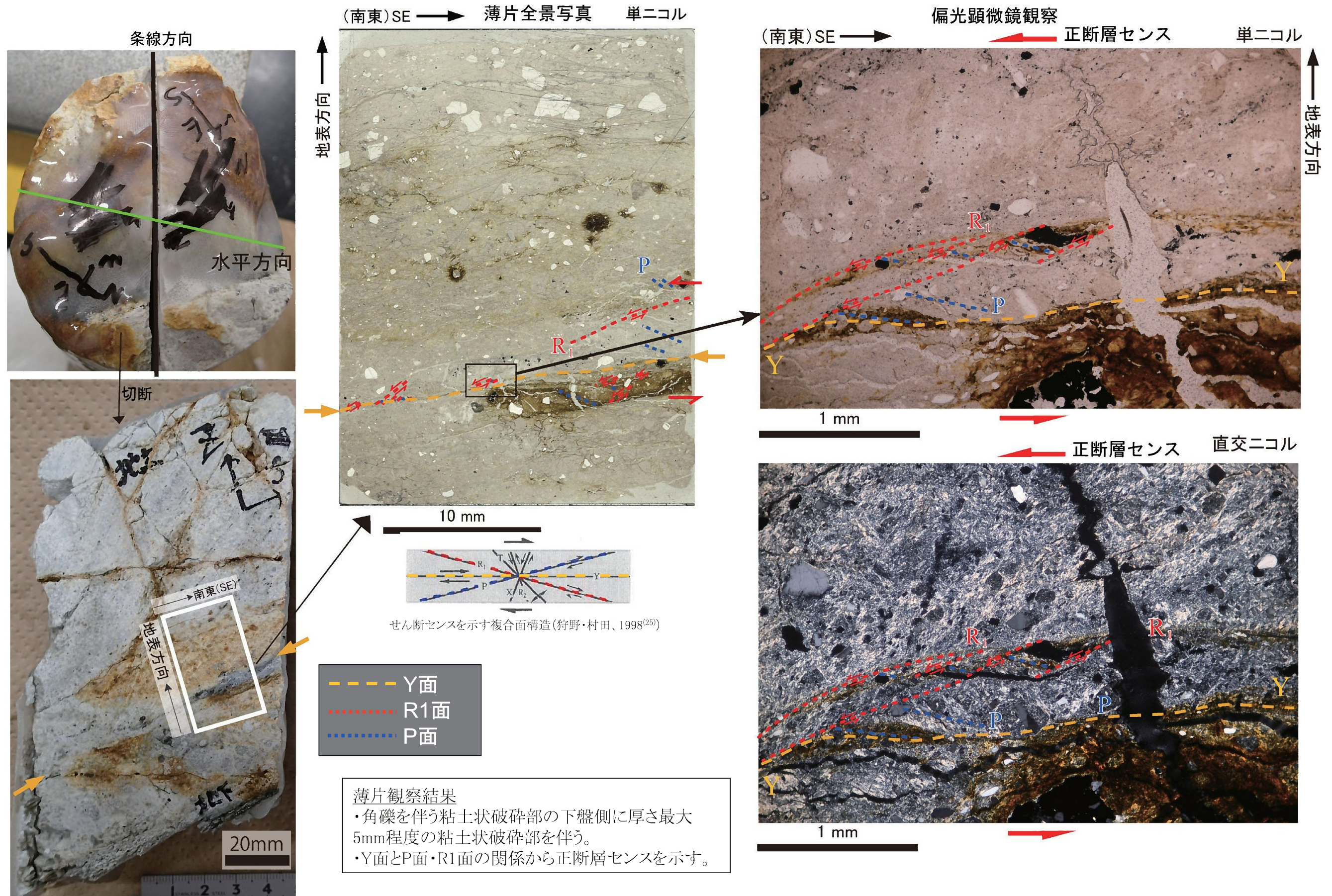
下盤側でみた条線方向

断層面の走向



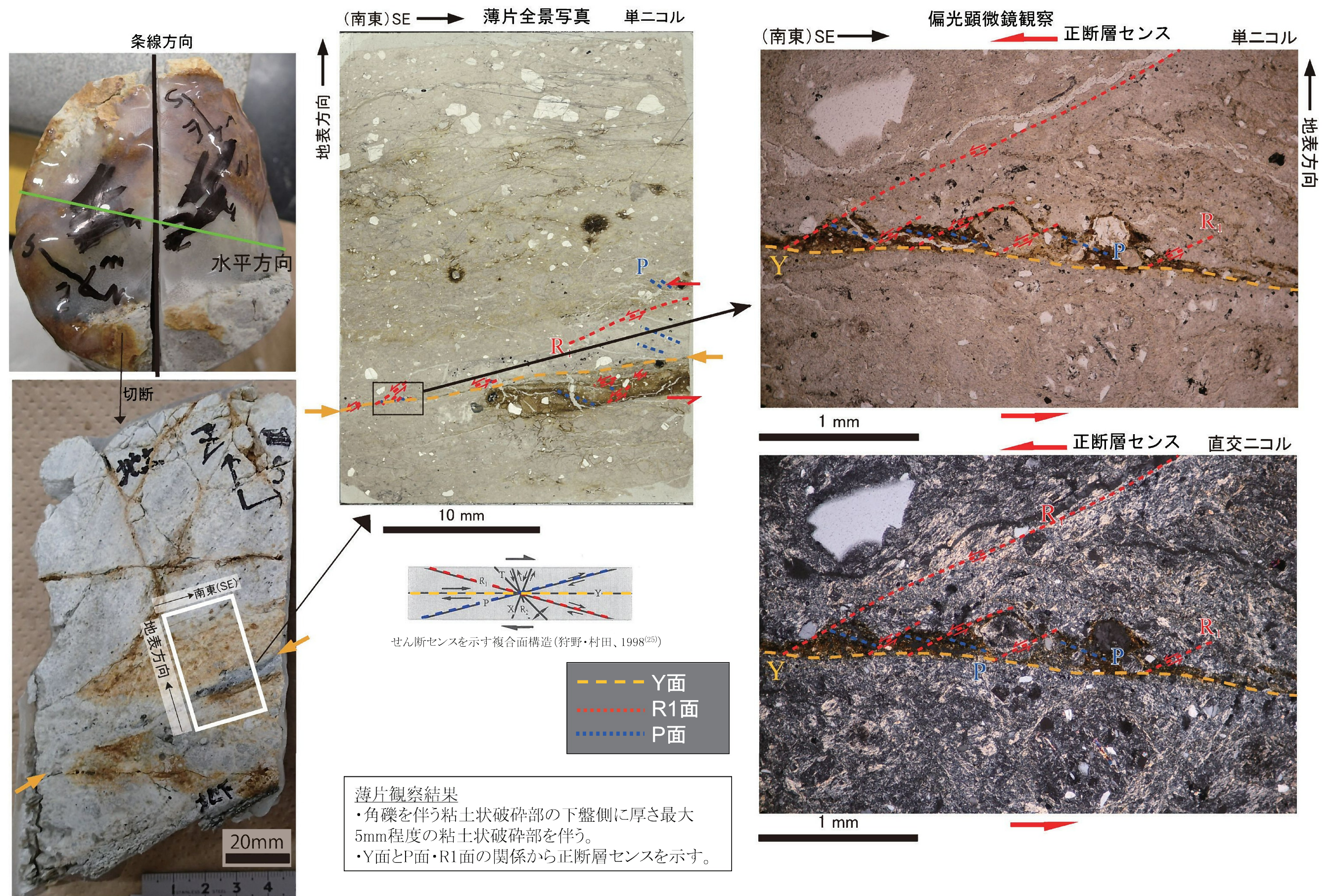
第1.2.3.3.13図 F-C (H25-9 孔破砕部1) 条線観察結果

F-C (H25-9孔 破碎部1)



第 1.2.3.3.14 図(1) F - C (H25-9 孔破碎部 1) 薄片観察結果(1)

F-C (H25-9孔 破碎部1)



第1.2.3.3.14 図(2) F-C (H25-9孔破碎部1) 薄片観察結果(2)

F-C (H25-9孔 破砕部2)



※赤下線を拡大。

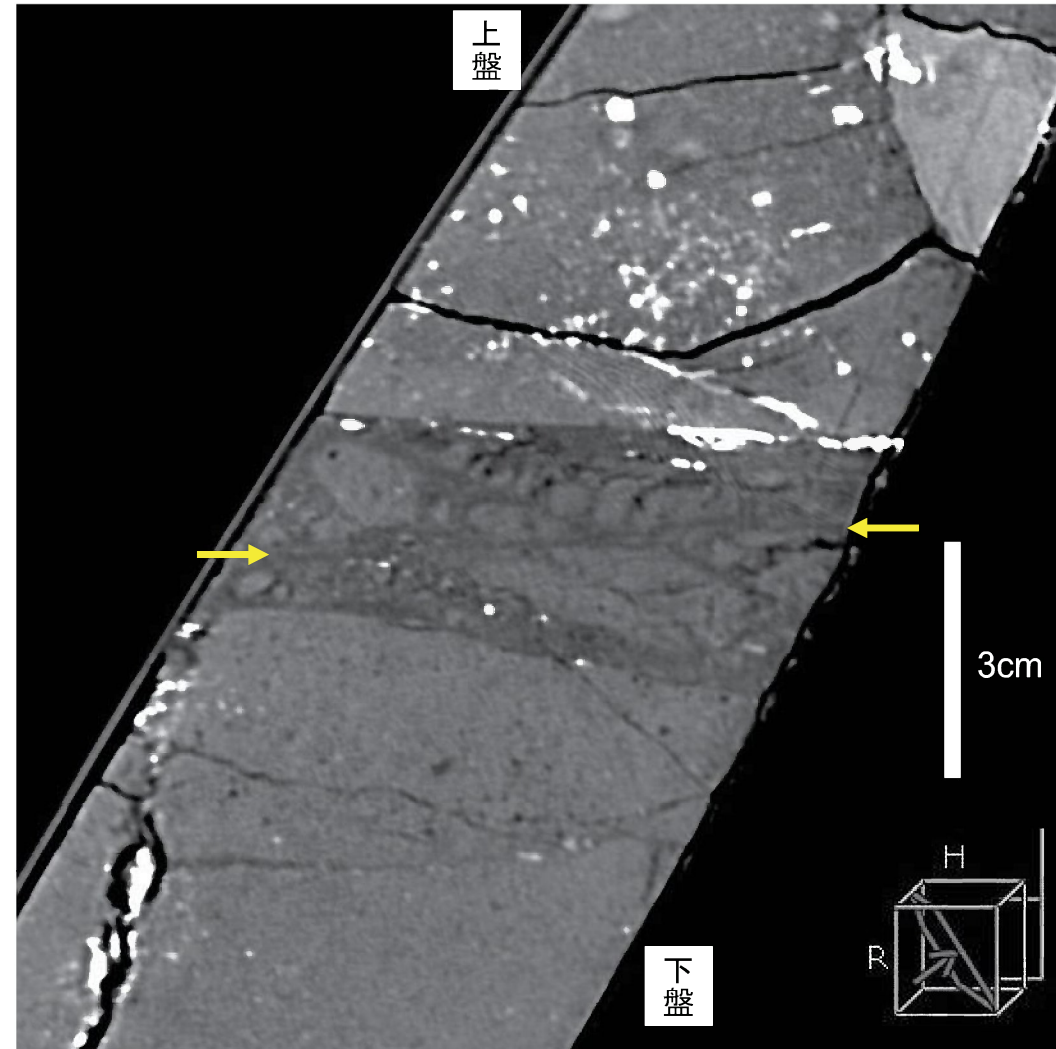


ボーリングコア観察結果

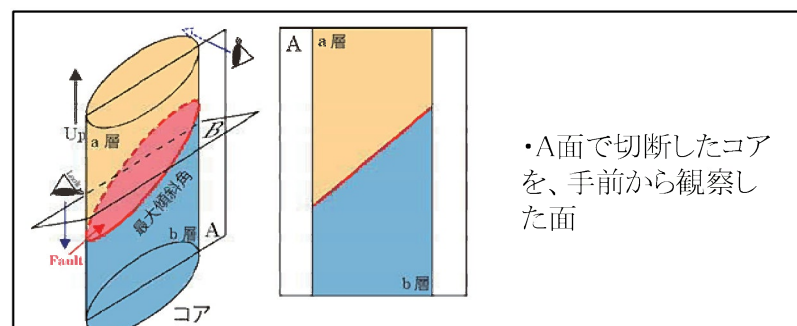
- 深度52.4m～52.5mに厚さ6cmの灰白色の角礫状破砕部(固結)と粘土状破砕部。
- 断層の走向/傾斜: N64E/14NW

F-C (H25-9孔 破砕部2)

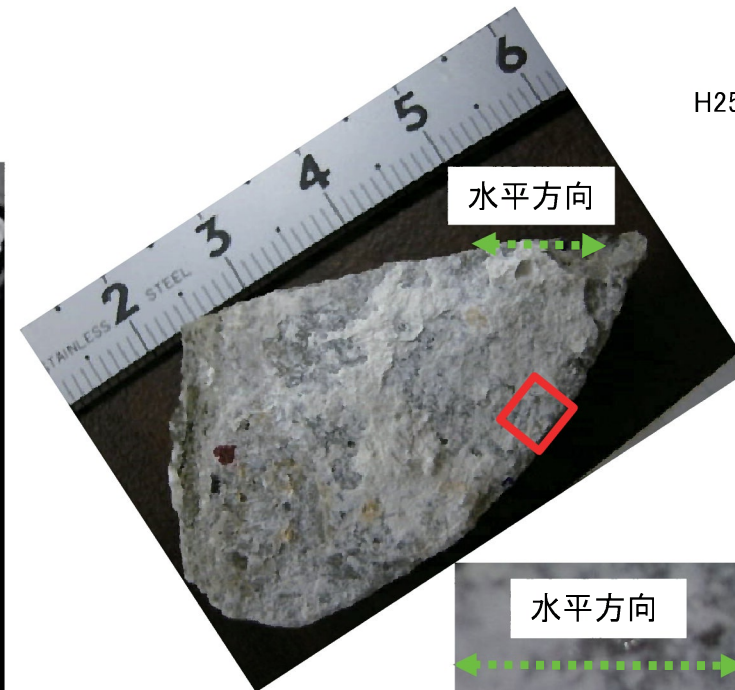
CT画像
条線に平行な方向で断面を取り、断層の縦ずれ変位を観察。



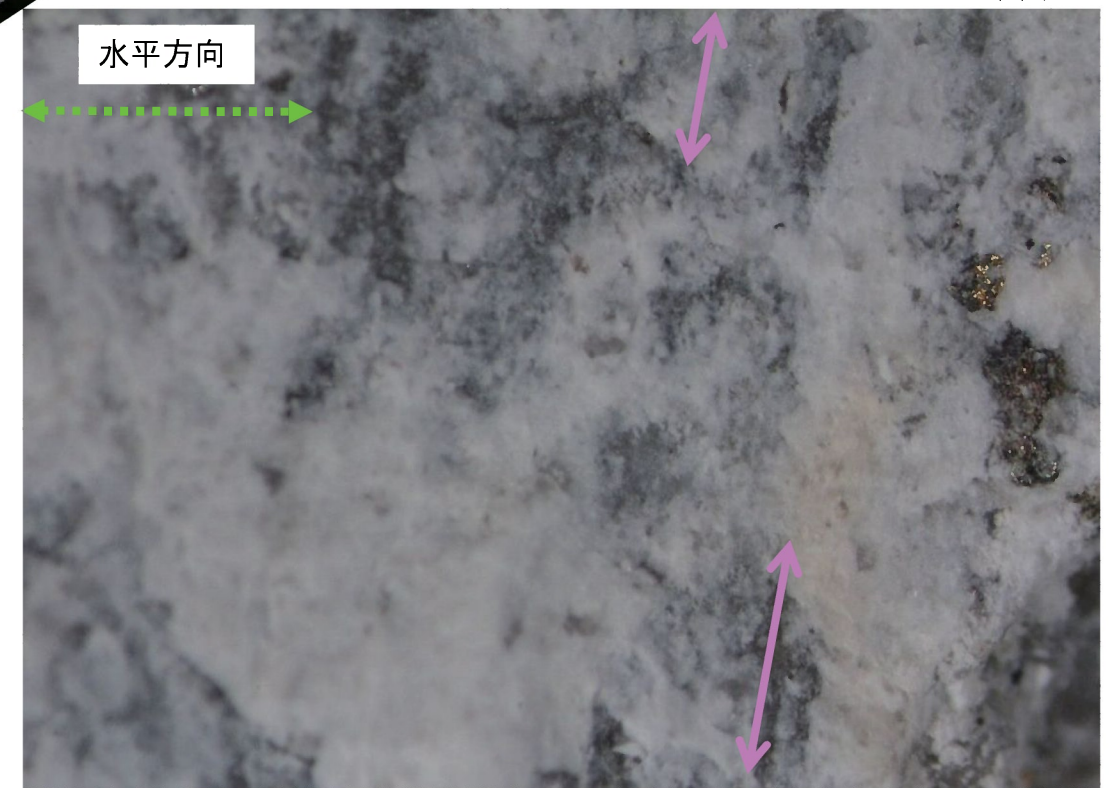
CT画像解析結果
・最新面は黄色矢印箇所。



条線観察
H25-9 52.4m-52.5m



上盤下面



0.5mm

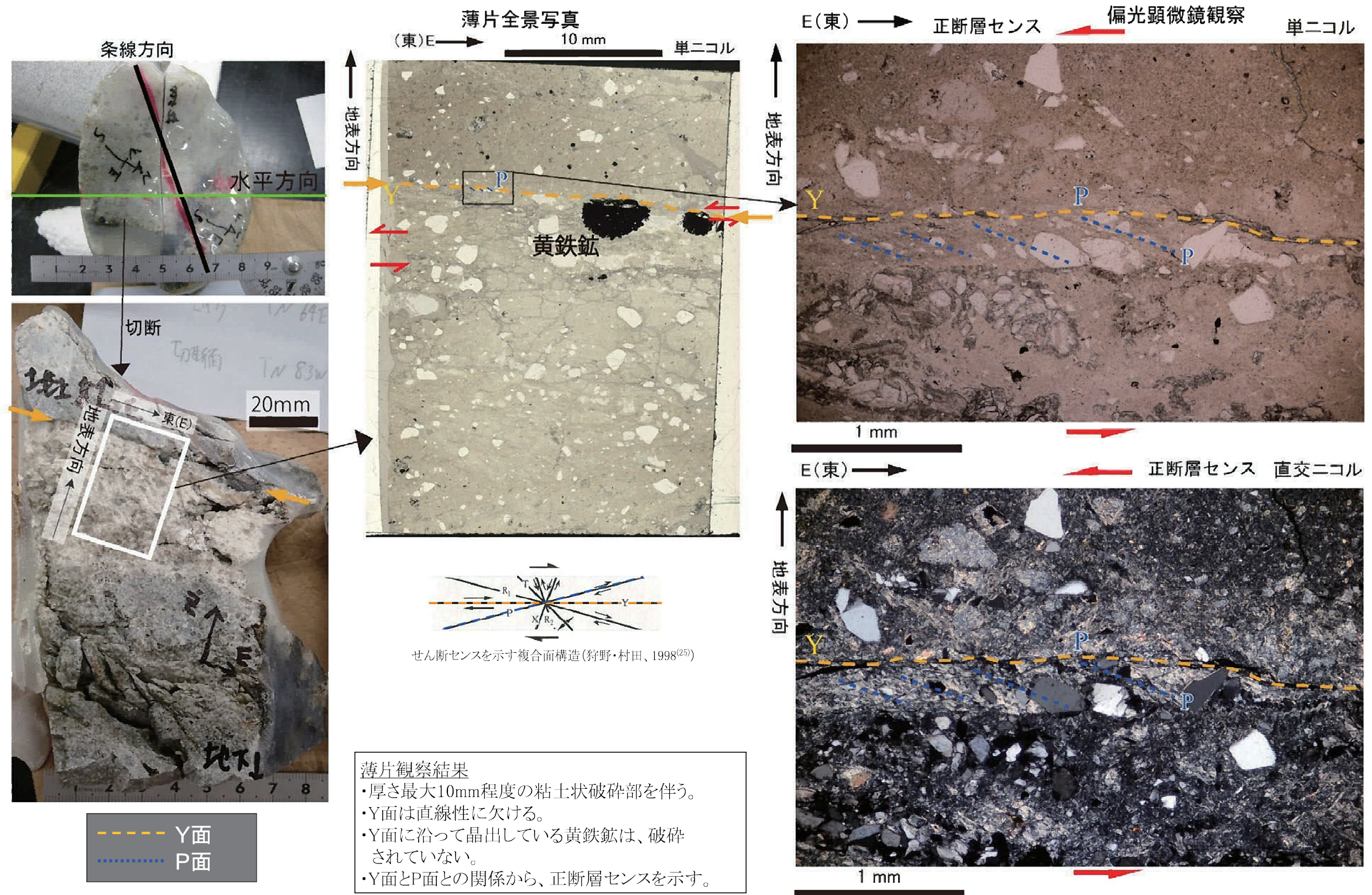
条線観察結果
・不明瞭な条線が認められる。

下盤側でみた条線方向

断層面の走向

条線
の方向
(79°R)

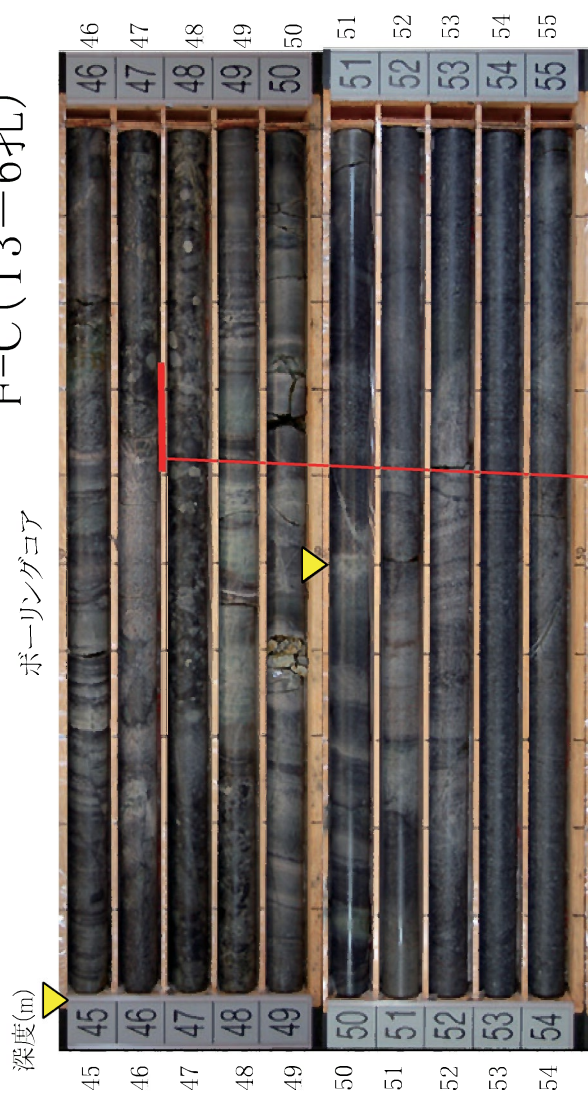
F-C (H25-9孔 破碎部2)



第 1.2.3.3.17図 F - C (H25-9 孔破碎部 2) 薄片観察結果

F-C (T3-6孔)

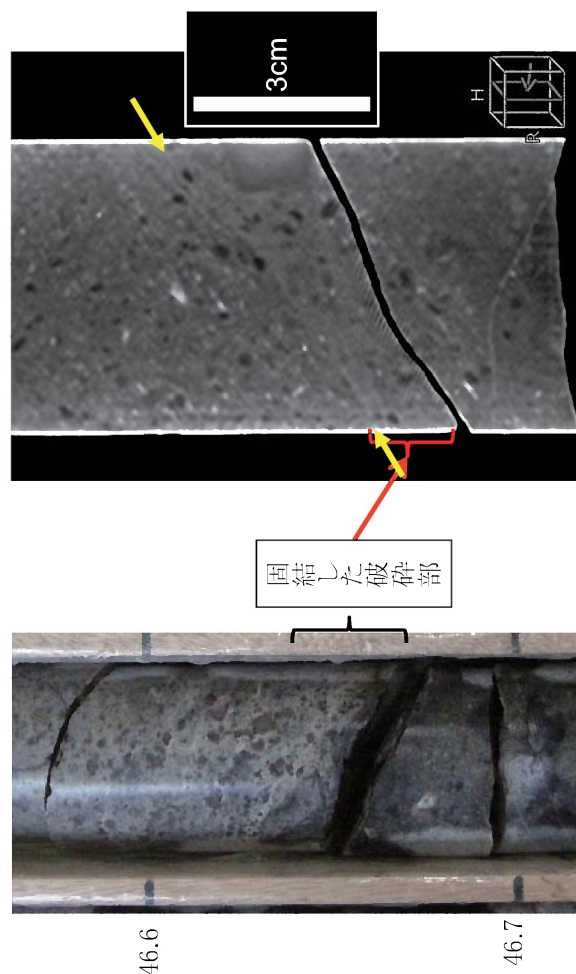
ボーリングコア



ボーリングコア観察結果

- ・石英閃緑岩の貫入により接触変成作用を受けた緻密堅固な音海流紋岩と深度45.0m～50.5mに流紋岩質凝灰岩が認められた。
- ・深度46.6m～46.7mに幅2cmの、接触変成作用により固結した角礫状破砕部。
- ・最下部幅1cmは、接触変成作用により固結した粘土状破砕部。

CT画像



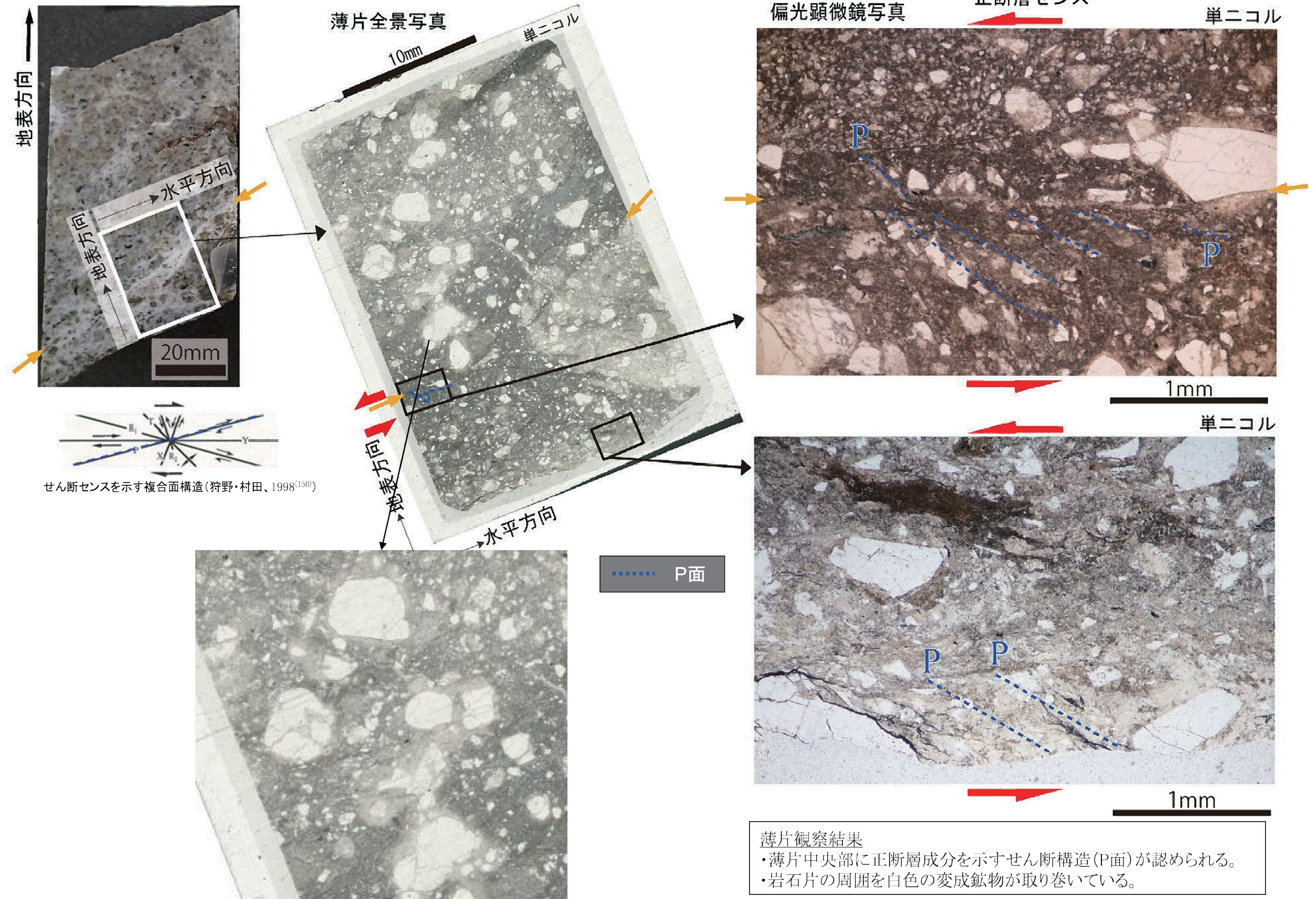
▶ 流紋岩質凝灰岩の上限(深度45.0m)及び下限(深度50.5m)

— 流紋岩質凝灰岩中に認められた1条の破砕部(深度46.6m～46.7m)

CT画像解析結果

- ・黄色の矢印箇所에선 断組織と思われる構造が認められる。

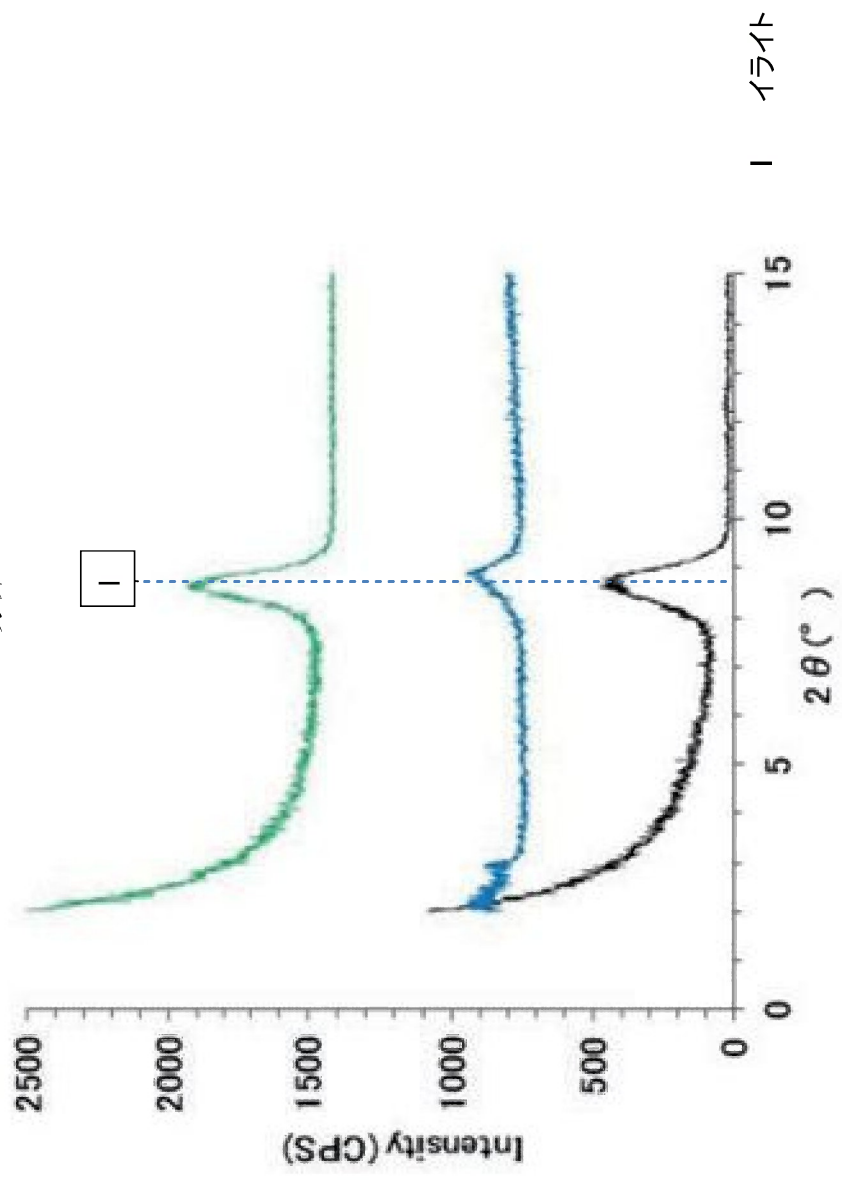
F-C (T3-6孔)



F-C (水抜き坑No.1ブロック)

定方位 水鏡

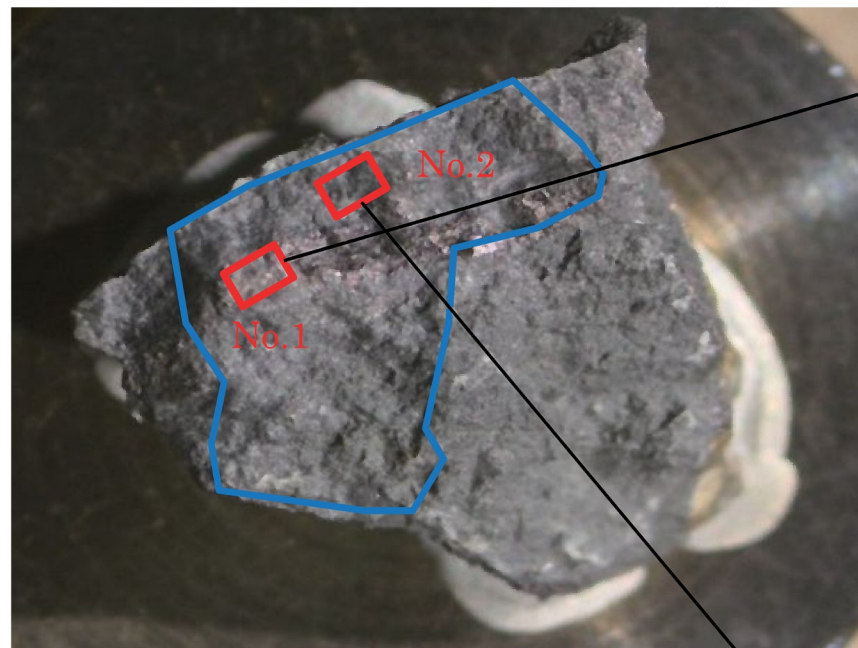
XRD分析



- 定方位 (無処理)
- 定方位 (EG処理)
- 定方位 (塩酸処理)

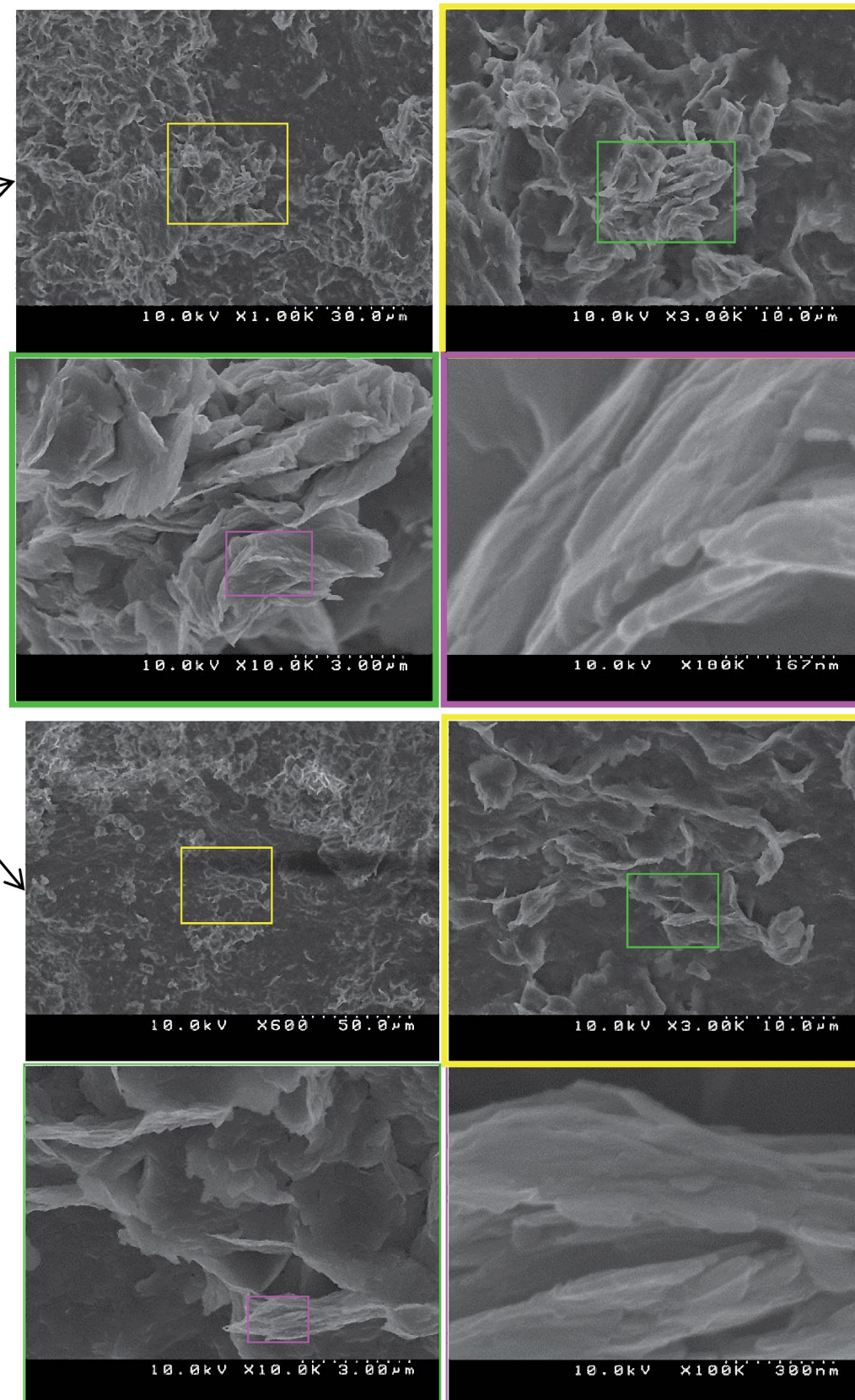
粘土鉱物分析結果
最新面に存在する粘土鉱物は、イライトである。

水抜き坑ブロックNo. 1から作成した最新面上のサンプル



5mm

蒸着後のサンプル写真
赤枠は観察箇所、青枠は同様のものが観察される範囲を示す。



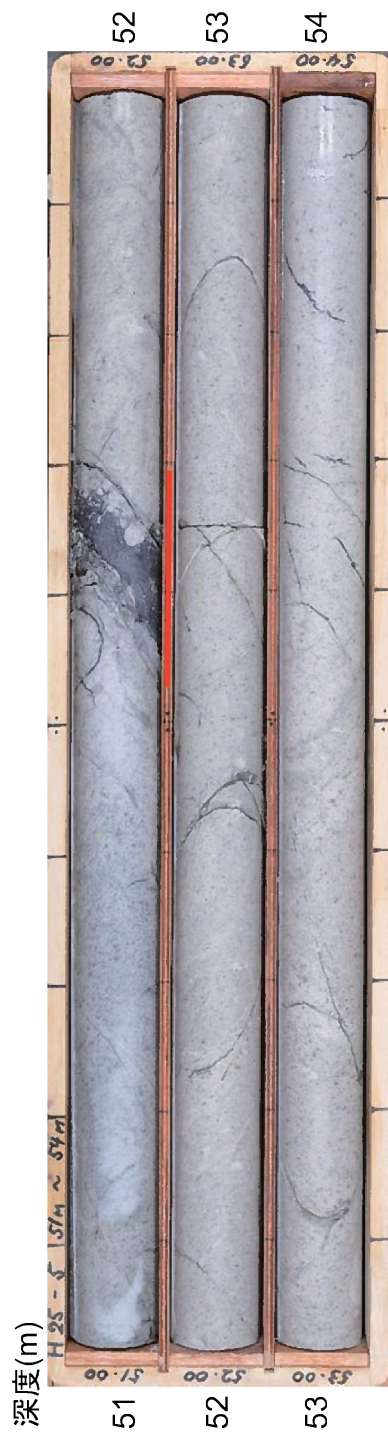
SEM観察結果

・最新面には粘土鉱物(イライト)が密集している。

SEM観察結果

・最新面には粘土鉱物(イライト)が密集している。

F-A (H25-5孔)



※赤下線は破砕部を示す。

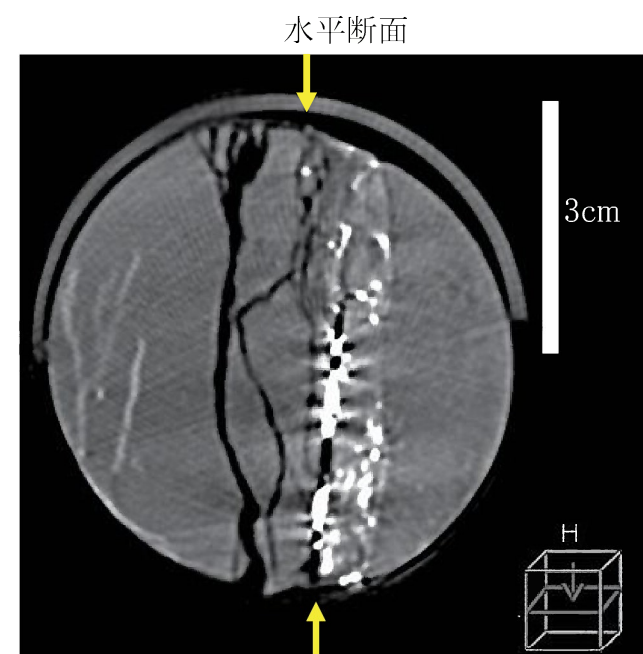
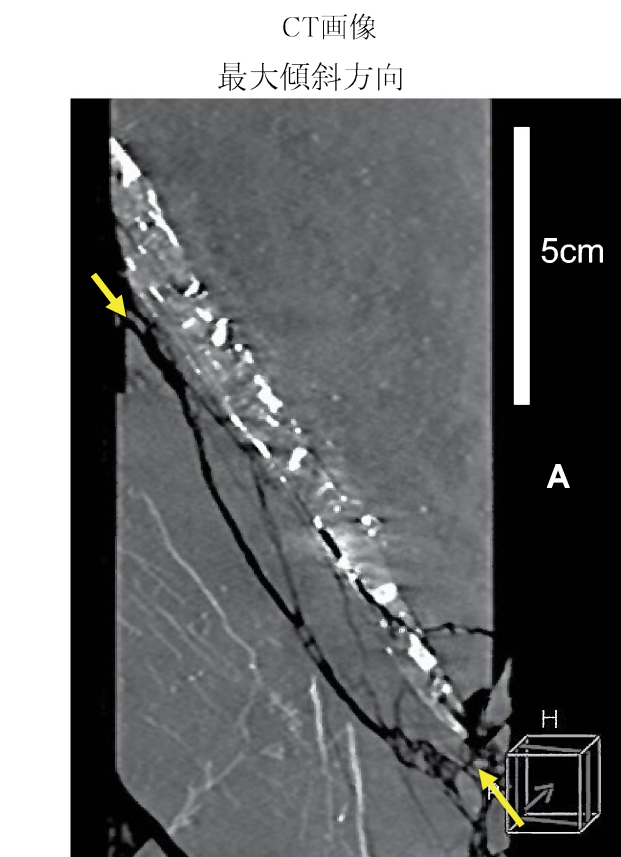
H25-5孔 51.55m-51.65mの破砕部拡大



ボーリングコア観察結果

- ・厚さ8cmの角礫状破砕部(固結)。
- ・走向・傾斜: N45° W/62° SW

F-A (H25-5孔)

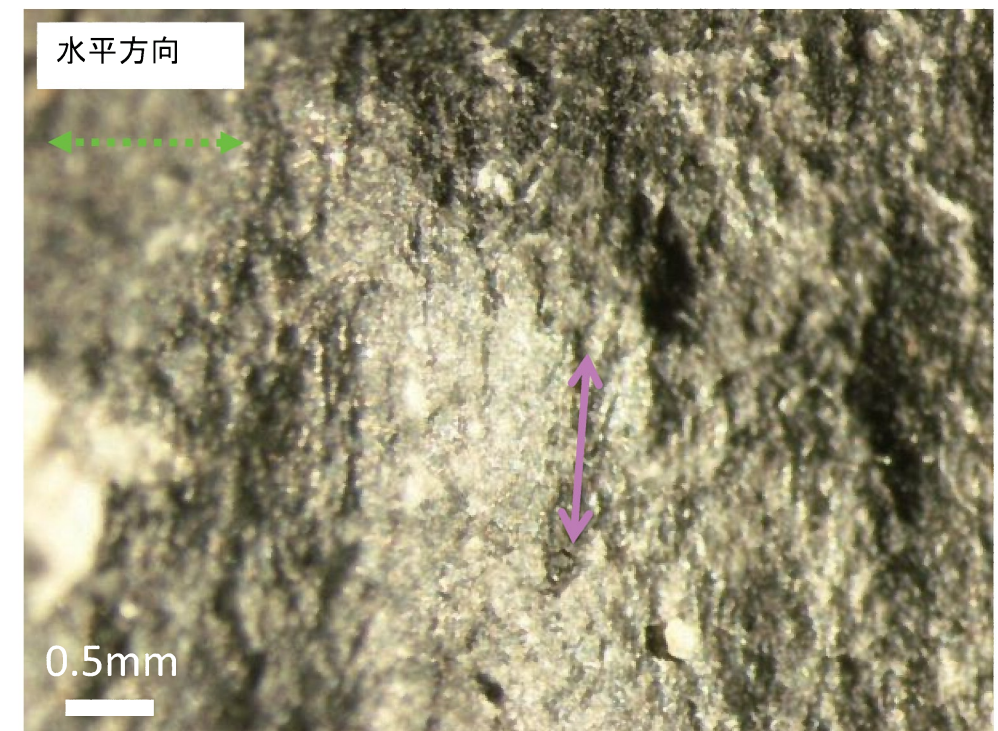
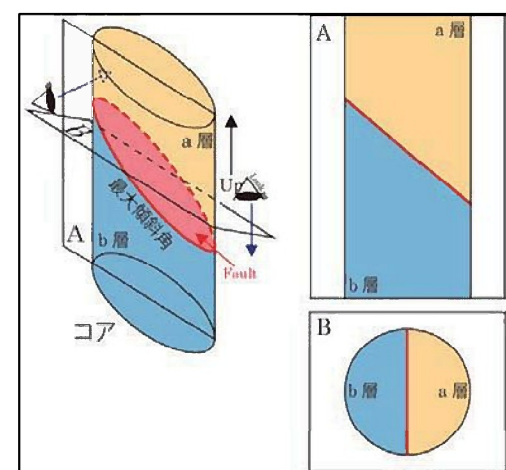


CT画像解析結果
・最新面は黄色矢印。

・A面で切断したコアを、
手前から観察した面
・B面で切断したコアを、
頭上から見下ろした面



H25-5 51.55m-51.65mの断層面(下盤上面)



下盤側でみた条線方向

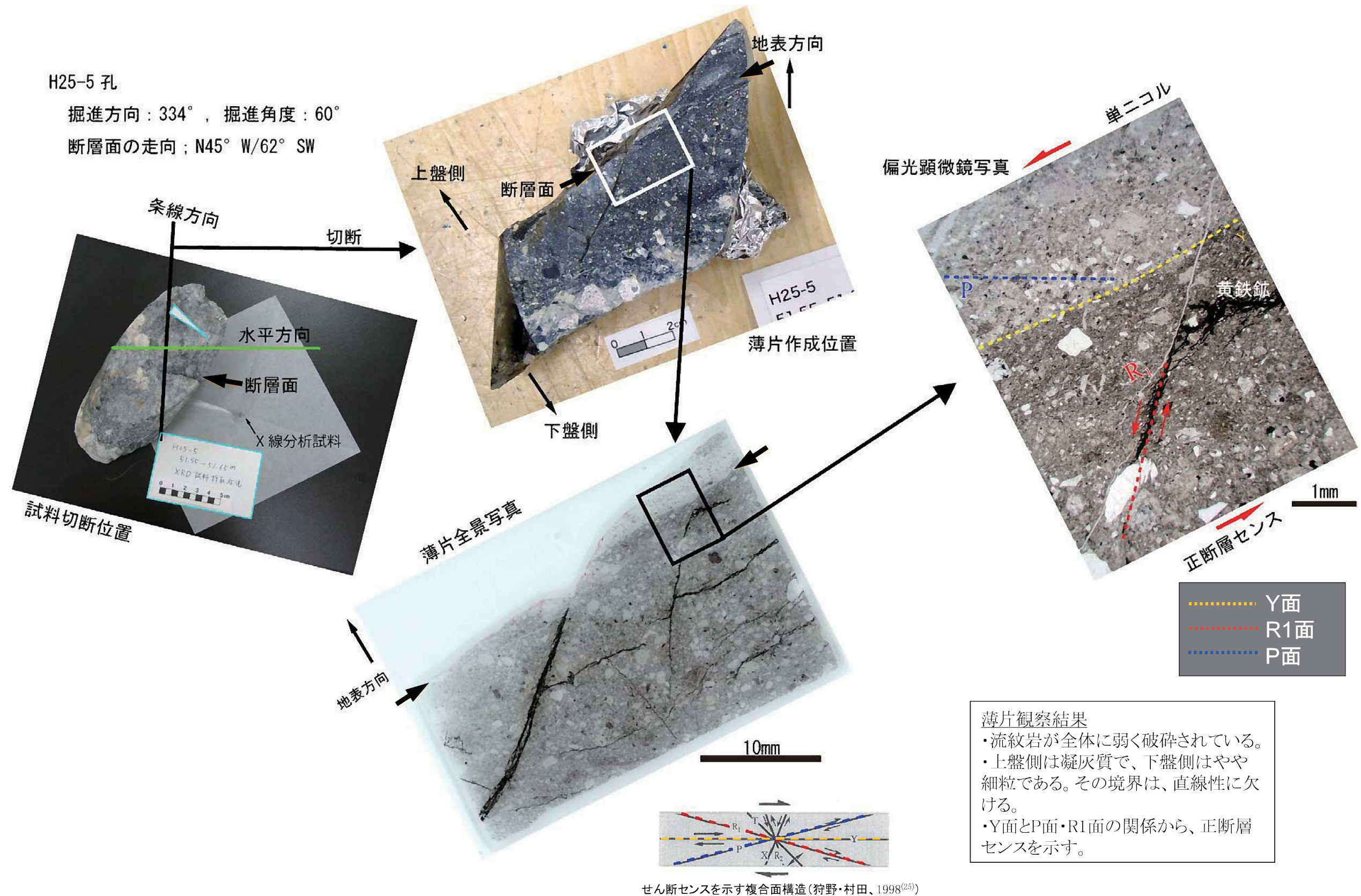
断層面の走向

条線
の方向
(85° L)

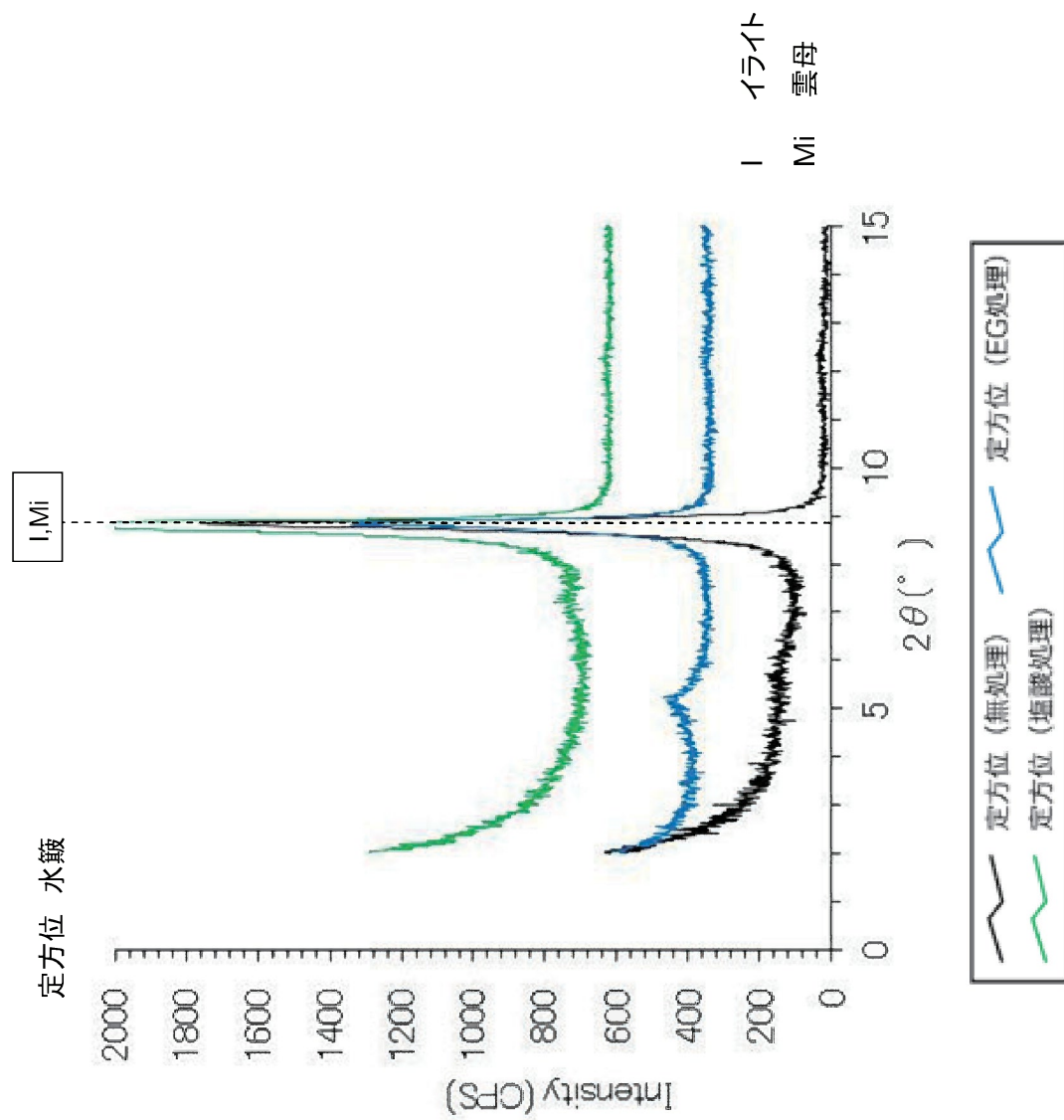
条線観察結果

- ・鏡肌が部分的に認められる。
- ・鏡肌部に条線が観察される。

F-A (H25-5孔)



第 1.2.3.3.24 図 F - A (H25-5 孔) 薄片観察結果



粘土鉱物分析結果
最新面に存在する粘土鉱物は、イライトなどである。